

令和5年度 保健体育科「体育」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	全学科 2年 A・B・C組
教科書		副教材等	

1 学習の到達目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	体づくり運動	体ほぐしの運動 実生活に生かす運動の計画	<ul style="list-style-type: none"> 運動を通して自分や仲間の中から心や体の状態に気づき、からだの調子を整えたり、仲間と楽しく交流する。 ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 プリント、課題の内容・提出状況
5	選択①・② 器械運動	マット運動	<ul style="list-style-type: none"> 自己の能力に応じて技能を高め、技が円滑にできるようにする。互いに協力したり補助したりし、計画的練習や発表の仕方の工夫ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 学習カードの内容 技能テストや記録会
6	陸上競技	短距離走・リレー	<ul style="list-style-type: none"> 自己の能力に応じて技能を高め、競技したり、記録を高めたりできるようにする。互いに協力するとともに、公正な態度がとれるようにする。また、安全に練習ができるようにするとともに、計画的な練習や競技会の企画・運営ができるようにする。 	
7	ダンス	創作ダンス	<ul style="list-style-type: none"> 運動を通して、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、動きに変化を付けて即興的に表現することや、個性を生かした簡単な作品にまとめて踊ることができるようにする。 	
9	体育理論	スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展 1. スポーツの歴史的発展と多様な変化 2. 現代のスポーツの意義や価値	<ul style="list-style-type: none"> スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること、また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあることについて理解を深める。 現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たし、共生社会の実現にも寄与していること、また、ドーピングは、フェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせることについて理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 プリント、課題の内容・提出状況
10	選択③・④ 球技	サッカー	<ul style="list-style-type: none"> チームの課題や自己の能力に応じた技能の向上、戦術・作戦を生かした攻防の展開ができるようにする。互いに協力するとともに、勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。また、安全に練習ができるようにするとともに、計画的な練習や競技会の企画・運営ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 学習カードの内容 技能テストや記録会
11		バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> チームの課題や自己の能力に応じた技能の向上、戦術・作戦を生かした攻防の展開ができるようにする。また、安全に練習ができるようにするとともに、計画的な練習や競技会の企画・運営ができるようにする。 	
		ソフトボール	<ul style="list-style-type: none"> 集団的技能や個人的技能を発揮して攻撃と防御を繰り返し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わうことができるようにする。また、互いに協力するとともに、勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。また、安全に練習ができるようにするとともに、計画的な練習や競技会の企画・運営ができるようにする。 	

1 2	武道	柔道	<ul style="list-style-type: none"> 自己の能力に応じて技能を高め、相手の動きに対応した攻防ができるようにする。互いに協力するとともに、勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。また、安全に練習ができるようにするとともに、計画的な練習や試合の工夫ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 学習カードの内容 技能テストや記録会
1	陸上競技	長距離走	<ul style="list-style-type: none"> 自己の能力に応じて技能を高め、競技したり、記録を高めたりできるようにする。互いに協力するとともに、公正な態度がとれるようにする。また、安全に練習ができるようにするとともに、計画的な練習や競技会の企画・運営ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 学習カードの内容 技能テストや記録会
2	体育理論	スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展	<ul style="list-style-type: none"> 現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていること、また、スポーツの経済的な波及効果が高まるにつれ、スポーツの高潔さなどが一層求められることについて理解を深める。 スポーツを行う際は、スポーツが環境や社会にもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められることについて理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 プリント、課題の内容・提出状況
3		<p>3. スポーツの経済的効果と高潔さ</p> <p>4. スポーツが環境や社会にもたらす影響</p>		

3 評価の観点

知識・技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。
 評価項目（授業態度・発問評価・学習カードや課題プリントの内容・技能テストや記録会の状況等）

5 担当者からのメッセージ

- ・体育にとって必要なことは、基礎的な知識、技能のもとに意欲をもってスポーツを実践することです。体力の向上を目指し、日頃の運動の実践に心がけましょう。
- ・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけてください。
- ・授業はチャイムと同時に開始しますので、活動場所への移動は休み時間の内に完了するようにしてください。また、授業見学は授業担当者に申し出て指示を受けてください。
- ・貴重品の管理をしっかり行い、授業に関係のないものは持ち込まないようにしてください。
- ・体育は実技を行う授業ですので、怪我等の安全には十分留意してください。また、装飾品は絶対に身に付けしないでください。
- ・体育科として、持久走（長距離走）への取り組み方を重視しています。決められた回数を走りきるようにしてください。